

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	外科的矯正治療に関する実態調査		
② 実施予定期間	2018年5月30日から2020年3月31日 当院では、倫理審査委員会承認後から開始します。		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で顎矯正手術を施行された患者さん		
④ 対象期間	2017年4月1日から2018年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	歯科口腔外科		
⑦ 研究責任者	氏名	堀永大樹	所属 歯科口腔外科
⑧ 使用する情報等	顎変形症手術の年間実施例数、術式や合併症の有無、矯正歯科医と口腔外科医との連携体制、術前・後矯正治療の期間、歯科矯正用アンカースクリューの使用についてのデータを使用する。		
⑨ 研究の概要	近年、顎変形症の外科的矯正治療も認知度を高め、日本国内で毎年約3000例の顎矯正手術が実施されるようになりました。特定非営利活動法人日本顎変形症学会では平成20年にわが国における顎変形症に対する実態調査を行い、その調査結果を会員にフィードバックすることにより、顎変形症治療における施設間差を解消し、顎変形症に対する医療の質と安全性を向上させ、さらには医療者と患者の相互理解に役立ててきました。前回の実態調査から10年が経過し、術前・後矯正治療にも大きな変化が現れてきました。そこで、顎変形症に対する外科的矯正治療の実態に関する詳細なデータを収集することを目的として調査を行います。診療録と手術記録から年間実施例数、術前・後矯正治療の期間、歯科矯正用アンカースクリューの使用等について日本顎変形症学会に情報を提供し解析を行います。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年3月20日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	特定非営利活動法人日本顎変形症学会に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	日本顎変形症学会ならびに各施設の研究費を使用します。		
⑯ 利益相反	ありません。		

⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 歯科口腔外科 担当者：堀永大樹〇〇〇〇〇〇			
	電話	025-227-2877	FAX	